

はじめに

ご利用のシステムのOSとして、SCIEXをお選びいただきありがとうございます。液体クロマトグラフィー飛行時間型質量分析機能を提供するSCIEX X500R QTOFとSCIEX X500B QTOFシステム、およびSCIEX Triple Quad™ 7500 LC-MS/MSシステム (QTRAP® Ready) をサポートするSCIEX OS 2.0 ソフトウェアをお届けします。SCIEX OS 2.0を使用すると、ユーザーは、Analyst® ソフトウェアバージョン1.6.2以降またはAnalyst® TFソフトウェアバージョン1.7.1以降を操作するトリプル四重極 QTRAP® およびTripleTOF® システムから取得したデータを処理することもできます。

本ドキュメントでは、ソフトウェアの機能について説明しています。ソフトウェアをご利用になる際の参照用として、このリリースノートを常にお手元に保管してください。

バージョン2.0の新機能

本項では、SCIEX OS 2.0の強化と修正について説明します。過去にリリースされたSCIEX OSの強化と修正については、該当するバージョンのソフトウェアに付属する『リリースノート』を参照してください。

バージョン2.0の新機能

測定機能

- SCIEX Triple Quad™ 7500 システムのサポート - QTRAP® 準備完了 :
 - MS Methodワークスペースの新しいトリプル四重極および線形イオントラップ (LIT) スキャンタイプ
 - 化合物の定量・定性確認のための情報依存取得 (IDA) サポート
 - 実験のループとスケジューリングのサポート
 - MS Methodワークスペースでのイオン化スケジューリングのサポート
この機能を使用すると、汚染のリスクを低減することにより、質量分析装置のダウンタイムを短縮できます。この機能を有効にすると、**Spray voltage**または**Nebulizer current**は、指定された期間のみ、メソッドで指定された値に設定されます。

- *Scheduled* MRM™アルゴリズムのサポートの強化
高度な機能が*Scheduled* MRM™アルゴリズムに追加されました。
 - 測定メソッドのトランジションごとに取得ウィンドウを構成する機能。ユーザーは、広いLCピークを持つ化合物や保持時間に大きなばらつきがある化合物のために、個々のウィンドウを調整して、実験の保持時間のロバスト性を向上させることができます。
 - 分析対象物の複数のトランジションを一次または二次としてラベル付けする機能。一次トランジションは測定ウィンドウ全体を通してモニタリングされる一方、二次トランジションは、一次トランジションがトリガーしきい値に達した後にのみモニタリングされます。
 - 二次トランジションをトリガーするための動的バックグラウンド減算 (DBS) のサポート。
 - 各トランジションに必要な滞留時間を指定する機能。
 - 処理メソッドからインポートしてMS Methodの保持時間を更新する機能
 - ライブラリから質量表にトランジションをインポートする機能。
 - MRMインデックス、MRM同時実行性、予測サイクル時間、および時間に対してプロットされた滞留時間を示すインタラクティブな要約プロット。
- 自動化合物最適化ツール：
 - MS Methodワークスペースでのフローインジェクション分析 (FIA) を使用した化合物最適化のサポート
 - MS³メソッドの最適化のサポート
- 質量分析の自動チューニング：
 - MS Tune ワークスペースでトリプル四重極と LIT スキャンタイプを調整する機能
 - 検出器電圧を最適化する機能
- Batchワークスペースの改善：
 - Batchワークスペースで最大4,000の成分濃度をサポートするようにタブレイアウトを改善
- メソッドの移行：
 - SCIEX OSで使用するためにAnalyst®ソフトウェア取得方法からMSパラメータを変換する機能
 - 定量モードでAnalyst®ソフトウェアのSCIEX 7500 システム データを処理する能力
- ルーティング分析の決定ルール：
 - 指定された分析結果の修正措置を定義するための、Batchワークスペースでの決定ルールのサポート。この機能を使用すると、サンプルのバッチを取得しているときに、サンプルの提出をリアルタイムで決定できます。

- LCサポート：
 - Shimadzu LC-40モジュールのサポート
 - Shimadzu Mikrosポンプのサポートサポートされているモジュールの完全なリストについては、『*Software Installation Guide*』を参照してください。
- チューニング中の統合シリンジポンプの自動停止と開始。

処理機能

- 計算列で使用するための新しいGETSTAT関数
この関数を使用して、選択した統計列（平均、標準偏差、およびパーセントCV）をResults Tableに表示できます。
- ユーザーは、複数の事前定義済みまたはカスタムのフラグ設定ルールに基づいて結果を評価する複合フラグ設定ルールを作成できます。結合ルールは、ルールで指定された結果値を含む列としてResults Tableに追加されます。
- 信号対雑音比（S/N）を計算するための新しいオプション：
 - ピーク間：ソフトウェアは、指定されたバックグラウンド領域の最高と最低のノイズ値を差し引くことによってノイズを計算します。信号対雑音比は、検出されたピーク高さをこのノイズ値で割った比率です。
 - 標準偏差：ソフトウェアは、指定されたバックグラウンド領域のデータポイントの標準偏差としてノイズを計算します。信号対雑音比は、検出されたピーク高さをこのノイズ値で割った比率です。

バージョン2.0の解決済みの問題

Analytics ワークスペース

- Analyticsワークスペースの[保持時間]ウィンドウが正しくありませんでした。(MQ-6225)
- 統計ペインでは、カットアンドペースト機能は機能しませんでした。(MQ-6323)
- Results Tableで、**Index**列を非表示にできるようになり、エクスポート時に抑制されるようになりました。
- 新しい権限である**Create reports in all formats**は、レポート出力を制御します。この権限を持つユーザーは、サポートされているすべての形式でレポートを出力できます。この権限を持たないユーザーは、PDF形式にのみ出力できます。
- ライブラリの結果と一致したサンプルについて、異なる一致が選択された場合、**Library Confidence**フラグは更新されませんでした。(BLT-2161)

- ユーザーが**Initiate Transfer to Watson LIMS**をクリックすると、Analyst[®]ソフトウェアが開きました。この問題は、Analyst[®]ソフトウェアが混合モード用に構成されていて、Analyst[®] Administrator Consoleが使用されていた場合に発生しました。(BLT-2162)
- UV/DADデータを含むデータファイルの場合、データファイルの最初の実験にUV/DAD圧カトレースが含まれていると、データファイルを処理方法で使用できませんでした。(MQ-7704)

Batchワークスペース

- バッチでLCメソッドを変更した場合、新しいLCメソッドからの値では注入量が更新されませんでした。注入量の値を削除してから、新しいLCメソッドを再度選択してください。(ONYX-2966)

データ収集パネル

- データ収集パネルに表示されるタイトルから一部の情報が欠落していました。(DS-3134/ONYX-6219)

User Managementワークスペース

- 権限**Create report to PDF only**が正しく機能していませんでした。これを選択した場合、ユーザーはすべての形式でレポートを作成することができます。これが選択されていない場合、ユーザーはレポートを生成することができませんでした。この権限は**Create reports in all formats**に置き換えられました。(BLT-1913)

Libraryワークスペース

- ユーザーがLibraryワークスペースを開こうとしたときに、ClearCore2エラーが発生しました。(ONYX-6244)

MS Tuneワークスペース

- 測定メソッドが開いている時、サンプルがキューで待機中、および取得中でも装置の設定を復元できました。(ACQ-3274)

デバイス

- 統合されていないバルブとの通信が断続的に失敗し、障害が発生しました。(BLT-1703)

インストール

- SCIEX OSは、サンプルがQueueワークスペースで待機中または取得中にアンインストールされる可能性があります。(BLT-1341)
- コンピュータ名がユーザー名と同じ場合、SCIEX OSのインストール失敗しました。(BLT-1142)

使用上の注意と既知の問題

使用上の注意

- Windows Updateを実行する場合、ソフトウェアの機能に影響を与える可能性があるため、ユーザーはオプションの更新プログラムをインストールしないでください。必要な更新だけをインストールしてください。システムでデータを取得しない時に更新をインストールするように、スケジュールを設定してください。
- デフォルトプロジェクトの読み取り権限を持っていない場合、SCIEX OSを開こうとするとエラーが発生する可能性があります。(ONYX-3131)
- 多数のワークスペースが開いている場合や、多数の移行が処理されている場合は、システム動作が遅くなる場合があります。(ONYX-2321)
- SCIEX OSの前バージョンで作成されたバッチを開く場合、**Injection Volume**フィールドは自動入力されません。バッチ内の各**LC Method**フィールドをクリックしてください。(ONYX-2967)
- バッチが開始されると、SCIEX OSはWindows Updates、Windows Defenderウイルススキャン（Windows 10）およびSymantec Endpointウイルススキャン（Windows 7）のインストールを停止します。データを収集しない時に更新やウイルスのスキャンングを実施するように、スケジュールを設定してください。
- パフォーマンスの問題やデータの破損を防止するため、サンプル取得中にはデフラグやディスククリーンアップなど、コンピュータのメンテナンス手順を実行しないでください。
- ネットワーク取得中にClearCore2が中断されると、中断時に取得中のサンプルの一部のサンプルデータは、データファイルに書き込まれません。ローカル取得中にサービスが中断された場合、サンプルデータの一部がデータファイルに書き込まれますが、破損としてマークされます。ClearCore2サービスが中断された場合、自動トリガー処理と決定ルール処理も失敗します。
- 次の方法により、ユーザーはネットワークリソースを取得しながら、Explorerワークスペースでデータをリアルタイムで表示できます。
 - SCIEX OSウィンドウ下部のData Acquisitionパネルを開きます。
 - Queueワークスペースで、取得中のサンプルをダブルクリックして開きます。(DS-1873)

注：サンプルがExplorerワークスペースで開いたままの場合は、サンプルがネットワークリソースに移動した後に、「File not found」というメッセージが表示されます。

- データファイルはSCIEX OS2.0で作成され、SCIEX OSバージョン1.3.1以前で取得されたデータファイルに追加することはできません。(DS-1931)

- Batchワークスペースでサンプルの新しい結果ファイルを指定する場合、ユーザーは処理方法も指定する必要があります。処理メソッドが指定されていない場合、Queueワークスペースの**Processing Method**列には***Embedded Method***が含まれ、自動処理は失敗します。(ONYX-4864)
- Analystデータパスで結果ファイルを指定する場合、サブフォルダを作成できません。既存のフォルダを選択する必要があります。(ONYX-4962)
- ユーザーがExplorerワークスペースにアクセスする権限を持っていない場合、ユーザーはQueueワークスペースからキャリブレーションレポートを開くことができません。(ONYX-3401)
- MultiQuant™ソフトウェアファイル (qmethod、qsession、およびcset) は、SCIEX OSのSCIEX OSワークスペースで開けることも使用することもできません。ただし、テキストファイルにエクスポートされたMultiQuant™ソフトウェアメソッドは、Analyticsワークスペースにインポートできます。
- ソフトウェアは、コンポーネントのイオン比を計算するのに、選択された回帰パラメータ（面積または高さ）を使用しません。ソフトウェアは、Results Tableの最初のコンポーネントに対して定義された回帰パラメータを使用して、Results Tableのすべてのコンポーネントのイオン比を計算します。(MQ-5546)
- ターゲットを絞らないワークフローの場合、Results Tablesは150,000行に制限する必要があります。Results Tablesがこのサイズを超えると、SCIEX OSのパフォーマンスが大幅に低下します。
- AutoPeak統合アルゴリズムを使用する場合、ユーザーは特定のResults Table内のコンポーネントのコンテキストで計算されたすべてのパラメータを考慮する必要があります。ソフトウェアは各コンポーネントのAutoPeakモデルを作成し、このモデルはコンポーネントのすべてのサンプルに使用されます。AutoPeak Asymmetryの計算パラメータは、コンポーネントのAutoPeakモデルのスキューに対する特定のスキューの比率を示します。(BLT-2030)
- 現在の監査マップテンプレートがワークステーションに適用されていても、**Apply to Workstation**ボタンがオンになりません。どの監査マップテンプレートが現在ワークステーションに適用されているかを判断するには、Audit Trailワークスペースを開きます。(ONYX-3400)

一般的な問題

問題	注
<p>ガイド付きMRMを使用して、MS Tuneワークスペース、チューニング中、またはMS Methodワークスペースで作成されたレポート（xps）ファイルを開くことはできません。Windowsは、このタイプのファイルを開くことができないと報告しています。</p>	<p>この問題は、Microsoft XPSビューアがコンピュータにインストールされていない場合に発生します。ビューアはSCIEX OSインストールパッケージに含まれています。インストールするには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管理者としてコマンドプロンプトを実行します。 <ol style="list-style-type: none"> a. WindowsタスクバーのType here to searchフィールドにcmdと入力します。 b. Command Promptを右クリックし、Run as administratorをクリックします。 2. [管理者：コマンドプロンプト]ウィンドウで、次のコマンドを入力し、Enterを押します。 dism /online /norestart /add-package /packagepath:"C:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS\Microsoft-Windows-Xps-Xps-Viewer-Opt-Package~31bf3856ad364e35~amd64~~.cab" <hr/> <p>注：コマンド全体を1行で入力します。</p> <hr/> <p>XPSビューアがインストールされると、進捗バーが表示されます。</p> 3. インストールが完了したら、コマンドプロンプトウィンドウを閉じます。
<p>英語以外の言語に設定されたコンピュータにSCIEX OSをインストールすると、最初にSCIEX OSを開く時にエラーが表示される。(BLT-892)</p>	<p>再度SCIEX OSを開きます。</p>

機器に関する問題

問題	注
カラムが設定温度に達する前に注入を開始する。	カラムオープンの WAIT TIME が手動で0に設定されている場合は、システムを平衡化し、カラムオープンが設定温度に達してから10~15分待ってからサンプルを提出するようにしてください。または、 WAIT TIME を1から10までの任意の整数に等しい値に設定してから、LCメソッドで Wait for temperature equilibration before run を選択します。このオプションを選択すると、カラムオープンが設定温度に達した後、ソフトウェアは WAIT TIME で指定された時間待機してから注入を開始します。
Agilent LC : Autosamplerでハイスループット設定がサポートされない。(ACQ-529)	ハイスループット設定は現在サポートされていません。
Shimadzu LC: デバイスが回復しているときに誤ったデバイスステータスが表示される。(ACQ-1410)	サンプルの提出前に従属機器をオフにした場合、LCシステムの状態はFaultにならなければいけないものの、実際にはスタンバイ状態になります。ユーザーがバッチをキューに再度送信しようとする、最初のサンプルは送信されますが、LCシステムがFault状態になるため送信はただちに失敗し、測定も失敗します。この問題が発生した場合は、コンピュータを再起動して、ソフトウェアを再度開きます。
Shimadzu LC : Direct Controlを通じてエラーを回復しても、機器の信号灯がFault状態から更新されない。(ACQ-1420)	LCがFault状態にあるときにDirect Control用機器を開いて Clear Error をクリックすると、機器は回復しますが、ソフトウェアの状態はまだ障害と表示されます。このエラーをクリアするには、状態パネルの Standby をクリックします。
Agilent LC : 電源をオンにして接続した機器が、有効な機器のリストにある機器と一致しない場合、LCメソッドが正しく実行されない。(ACQ-1716/2062)	システムを正しく機能させるには、機器の電源をオフまたはオンにして、有効な機器リストの内容と一致させます。
Shimadzu LC : Shimadzu PDAを使用した長いバッチ（サンプリングレート12.5 Hz以上）の実行中に、パフォーマンスの問題が発生する。(ACQ-2037)	バッチの予測される長さが、予測よりも長い可能性があります。問題の発生を回避するには、12.5 Hz未満のサンプリングレートを使用してください。

問題	注
Shimadzu LC : 2つのUVチャンネルを使用する取得の実行中、反転したUVデータが取得される。(ACQ-2042)	これは、LCメソッドのUV検出器セクションで極性が負に設定されている場合に発生します。問題の発生を回避するには、極性フィールドで正の設定を選択してください。
いくつかのサンプルを処理した後、圧力グラフは、元の圧力に戻る前に、圧力が一時的にゼロに低下することを示しています。(ACQ-2043)	圧力降下は、注入ループが流路に切り替えられたときに発生します。圧力は5秒ごとにサンプリングされるため、注入ループが切り替わるたびに圧力降下が表示されない場合があります。この問題による性能への影響はありません。
Agilent LC : 平衡化の最中にサンプルを中断すると、Agilent LCがFault状態に移行することがある。(ACQ-2142)	この問題が発生した場合は、 Standby をクリックして機器を回復してください。
Agilent LC : 従属機器が障害から復旧しReady状態になった後も、Agilent LCでFault状態が表示される。(ACQ-2144)	この問題が発生した場合は、 Standby をクリックしてLCをReady状態に戻してください。
LCメソッドで、LCポンプまたはカラムのオープン温度表のグラジエントテーブルの時間がMS Methodの時間よりも長い場合、MS Methodの時間が終了するとLC機器の実行が停止する。(ACQ-2167/2088)	この問題を回避するには、LCメソッド時間の Stop Time フィールドの値が、LCメソッドを実行しなければならない最長時間になっていることを確認してください。
ShimadzuおよびExionLC LC : LCメソッドへのアクセス方法によって、PDAのデフォルトパラメータが異なる。(ACQ-2176)	問題の発生を回避するには、PDA機器に正しいパラメータが使用されていることを確認してください。
Agilent LC : LCグラジエントグリッドの流量をコピーすると、小数点記号としてのコンマが無視される。(ACQ-2191)	これはAgilent LCの問題です。この問題を回避するには、手動で流量を入力し、コンマを小数点記号として使用してください。
Agilent LC : 機器が有効化の最中にFault状態になっても、そのFault状態が正しく反映されない。(ACQ-2195)	この問題を回避するには、機器の障害をクリアし、Agilent機器を一度無効化してから再度有効化します。
いくつかのケースで、機器が手動で追加できない。(ACQ-3014)	いくつかのケースで、機器が手動で追加される際に、 Test device 機能が動作しません。この問題を回避するには、 Autoconfig を使用して機器を追加します。

問題	注
ユーザーは、サポートされていない機器とオプションを構成できる。(BLT-1740)	SCIEX Triple Quad™ 7500 システム - QTRAP® 準備完了は、校正可能なデリバリー システムとコンタクトクロージャオプションをサポートしていません。
取得中にMS通信の切断から回復した後、システムがRun 状態のままになる。(MSCS-432)	取得中にEthernetケーブルを取り外した場合は、取得が停止され、システムはFault 状態になります。Ethernetケーブルを再接続してから、別の取得を実行しようとする、取得が完了して、リアルタイム表示の更新が止まりますが、システムはRun 状態のままになります。これが発生した場合は、機器のプロファイルを再度有効化してください。
CDSなどの機器に障害が発生しても、右状態パネルのStandbyボタンがアクティブにならないため、ユーザーがエラーをクリアできなくなる。(MSCS-1314)	この問題が発生した場合は、Direct Controlで Start をクリックして、CDSの状態をFaultからRunningに変更し、CDSのFault状態をオフにします。
質量分析装置が有効化に失敗した場合、または障害状態のときに有効化された場合、質量分析装置の質量モードは表示されない。(MSCS-2065)	質量分析装置がReadyまたはIdleの状態になったら、再度デバイスを起動します。
SCIEX OS 2.0からSCIEX OS 1.7にダウングレードした後、ユーザーは装置ワークスペースでX500 QTOFシステムを構成できない。(MSCS-2286)	SCIEX OS 1.7をインストールした後、ClearCore2 サービスを停止し、SCIEX OS 2.0インストールパッケージのInstallフォルダからC ++再配布可能(vc_redis*.exe) ファイルをインストールします。
LCシステムのDevice Detailsダイアログに情報がない。(ON-2069)	この問題は、Windowsのリージョン設定が English (United States) 以外の形式に設定されている場合に発生します。このエラーを回避するには、『 <i>Software Installation Guide</i> 』の指示に従ってWindowsを構成します。

問題	注
<p>Agilent LC : サンプルバイアルが欠損している場合、システムは欠損しているバイアルを認識できず、空気を注入する。(ONYX-4849)</p>	<p>この問題は、次のオプションのいずれか、両方が選択されている場合にサンプルバイアルが欠損している場合に発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • If a sample is missing, then proceed to the next sampleQueue Settings ページ。 • Ignore missing vessel Direct Control ダイアログ。 <p>これらのオプションのどちらも選択されていない場合、システムはFault状態になり、サンプルは失敗します。</p> <p>このエラーを回避するには、これらの両方のオプションをクリアしてから、すべてのバイアルが存在することを確認します。</p>
<p>Agilent LC : Agilent G7121B 1260 Infinity II FLDスペクトルモジュールからのリアルタイムDADデータは、spectrumモードがApexまたはAll in Peakに設定されている場合は記録されない。(ONYX-4998)。</p>	<p>ApexおよびAll in Peakスペクトルモードはサポートされていません。別のモードを使用してください。</p>
<p>Agilent LC : 信号A励起がゼロオーダーに設定され、光電子増倍管 (PMT) ゲインが6より大きい値に設定されている場合、Agilent G7121B 1260 Infinity II FLDスペクトルモジュールが使用されているとき、システムは読み込み中または平衡状態のままです。(ONYX-4999)</p>	<p>信号A励起がゼロオーダーに設定されている場合、PMTゲインを6以下に設定します。</p>
<p>ユーザーがLC Methodワークスペースで F1 を押すと、SCIEX OSヘルプシステムとLCシステムのヘルプの両方が開く。(ONYX-7149)</p>	<p>該当なし</p>

問題	注
<p>リモートデスクトップアプリケーションを使用して測定用コンピュータにアクセスすると、次の問題が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> LC Methodワークスペースでは、一部のパラメータが表示されません。 LCシステムの詳細ステータスダイアログで、一部のLCパラメータが表示されない。 <p>(ONYX-7153/ONYX-8048/ONYX-8185)</p>	<p>この問題は、ユーザーが測定用コンピュータからログオフせずにリモートデスクトップセッションを切断して再接続した場合に発生します。この問題を回避するには、次のいずれかの方法を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 測定用コンピュータからログオフしてから、再度ログオンします。 リモートデスクトップアプリケーションでフルスクリーンモードを使用します。 測定用コンピュータの分解能を修正します。 測定用コンピュータで詳細なステータスを直接表示します。
<p>Shimadzu LC-40 : デバイスコントロールダイアログの Purge、Rinse、および Cooler ボタンがアクティブではない。 (ONYX-7702)</p>	<p>Autosamplerのキーパッドコントロールを使用するか、これらの機能をLCメソッドに含めます。</p>
<p>Shimadzu Nexera Mikros LCポンプは、最大圧力限界に達しても故障状態にはならない。 (ONYX-7794)</p>	<p>該当なし</p>
<p>ダイバータバルブの詳細ステータスダイアログで、システムが平衡状態および負荷状態にあるときに Time 値が正しくない。 (ONYX-7831)</p>	<p>次のサンプルの実行が開始されるのを待ってから、詳細ステータスダイアログをもう一度開いて Time を表示します。</p>
<p>Shimadzu Nexera Mikros LCポンプは、デバイス構成でLC-20ABポンプとして誤って識別される。 (ONYX-8030)</p>	<p>LCシステムのパフォーマンスは影響を受けませんが、ポンプはデータファイル、ログ、および監査証跡で誤って識別されます。</p>
<p>Agilent DADがShimadzu LCスタックに接続されている場合、DADトレースとMSトレースの間に0.2分の遅延がある。 (ONYX-8120)</p>	<p>この構成で取得したデータをExplorerワークスペースで処理する場合は、Process > Offset Chromatogram コマンドを使用して合計オフセットを0.2分に設定します。</p>
<p>デバイス構成にチャンネルモードでデータを取得するように構成された検出器が含まれ、取得したデータに重複する波長が含まれている場合、データ収集パネルと Explorerワークスペースに表示される波長データは正しくない。 (ONYX-8382)</p>	<p>Analyticsワークスペースにデータが正しく表示されます。</p>

問題	注
Shimadzu LC-40 : プレートレイアウトダイアログで、ユーザーが複数のプレートでラックタイプを構成している場合、プレートの構成を終了して次のプレートを選択すると、構成されたプレートの名前が<Unassigned>に変わる。 (ONYX-8441)	バッチを保存して再度開き、プレートレイアウトダイアログにプレート名を正しく表示します。
SCIEX OSは、チューニング中に外部シリンジポンプを自動的に開始および停止しない。(ONYX-8459)	調整手順を開始する前に、シリンジポンプを手動で開始します。

取得における問題

問題	注
<p>取得中または処理中にアクティブなResults Tableファイルが開かれた場合、サンプルの自動トリガー処理が中断されることがあります。これは、MS Methodに大量の化合物が含まれている場合、つまり500化合物以上の化合物が含まれている場合にのみ発生します。これが発生した場合、実装されている決定ルールも中断される。(ONYX-8733)</p>	<p>この問題を回避するには、多数の化合物 (<500) を含むMS Methodを使用してデータを取得する場合は、アクティブなResults Tableファイルをキューから開かないでください。</p>
<p>BatchおよびQueueワークスペースで、PDFFactoryオプションを使用するプリントアウトには以下の問題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PDFFactoryで生成されたレポートに、メソッド名、サンプル名、サンプルID、バーコードなどを示す数値が含まれていない（その名前が番号である場合）。(ONYX-2236) • 他の地域の設定が使用されている日時は表示されない。(ACQ-2700) • PDFFactoryを使用していくつかの孤立行だけを印刷する場合は、行インデックスがブランクになる。(ACQ-2701) • (X500 QTOFシステム) バッチ作成時にAuto-Calibrate オプションを選択すると、キャリブレーションサンプル周波数、CDSチャンネル、およびバイアル位置（キャリブレーション供給用にLCを選択した場合）の値が欠落する。(ACQ-2804) • SとPDFFactoryを横向きモードで使用したレポートの印刷は予測どおりに機能しますが、PDFFactoryを縦向きモードで使用すると、最初のページの最後の2列が省略され、バッチが印刷される時間が切り捨てられる。(ACQ-1275) 	<p>問題を回避するには、PDFFactoryオプションではなく、XPSオプションを使用して印刷します。</p>

問題	注
<p>バッチワークスペースでは、メソッドが別のプロジェクトからコピーされた場合、利用可能な MS および LC メソッドのリストが不完全になる。(ACQ-2127)</p>	<p>この問題が発生した場合は、ソフトウェアを再起動します。</p>
<p>Data Fileがセルの中央にあり、ユーザーが Shift + Tabを押して次のセルに移動すると、エラーが表示され、バッチを送信できない。(ACQ-2135)</p>	<p>この問題を回避するには、Tabキーを使用してセル間を移動しないでください。セルの内容をすべて削除してから、再度Data Fileを入力します。</p>
<p>(X500 QTOFシステム) イオン源パラメータが質量分析装置に更新されない。(ACQ-2177)</p>	<p>SWATH[®]およびMRM HRメソッドを使用した手動での取得中は、ユーザーインターフェースでイオン源ガスおよび温度パラメータを編集できません。ただし、ユーザーが行った変更は質量分析装置に更新されず、変更はそのサンプルのサンプル情報に記録されません。</p>
<p>Standbyを選択すると、HarvardシリンジポンプがFault状態になる。(ACQ-2193)</p>	<p>この問題を回避し、エラーをクリアするには、Direct Control機能を使用してシリンジを起動します。</p>
<p>LCがFault状態になった後に、LCを有効化できない。(ACQ-2207)</p>	<p>この問題が発生した場合は、LCのエラーをクリアしてから、機器を一度無効化してから再度有効化します。</p>
<p>Shimadzu LCの使用時、AutosamplerのTimeプログラムテーブルに注入イベントがあると、システムが注入を実行できない。(ACQ-2242)</p>	<p>この問題を回避するには、AutosamplerのTimeプログラムテーブルに注入イベントを追加しないでください。</p>
<p>時折、質量分析装置がFault状態になり、システムを復旧できなくなることがある。(ACQ-2250)</p>	<p>この問題が発生した場合は、機器を一度無効化してから再度有効化して、Standbyをクリックします。</p>
<p>イオン源またはプローブが変更された後、MS Methodワークスペースでオープンメソッドから別のメソッドに切り替えるときに、ソフトウェアは必要なパラメータを保存しない。(ACQ-2262)</p>	<p>この問題が発生した場合は、必要に応じてパラメータを更新してください。一部のパラメータは、新しいイオン源またはプローブに必要なでない場合、使用不可になります。</p>

問題	注
<p>UIに表示された列の一部が印刷されない。 (ACQ-2611)</p>	<p>以下を実行すると、UIに表示された列の一部がメソッドのプリントアウトに表示されません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. MRM HRメソッドを作成する。 2. スキャンスケジュールを適用する。 3. 拡張パラメータを選択して表示する。 4. メソッドを保存してから印刷する。 <p>この問題を回避するには、Letter サイズより大きい用紙サイズを選択します。</p>
<p>負極性でのMRMHR生成中にソフトウェアがCEパラメータを上げた場合、リアルタイムのData Acquisitionパネルにはスペクトルデータが表示されず、X軸スケールが正モードで表示されない。(ACQ-2727)</p>	<p>この問題を回避するために、MRMHRジェネレータを使ってパラメータランプの結果を確認してください。Data Acquisitionパネルは使用しないでください。</p>
<p>(X500 QTOFシステム) 手動チューニングでは、キャリブレーションサンプルなし（つまり、CDSまたはLC自動キャリブレーションなし）でバッチを送信すると、手動のMS Method取得によるイオンが最初のサンプルとバッチ内にある後続のすべてのサンプルのサンプル間DBC参照リストとして使用される。手動取得に使用したMS Methodとバッチで送信したMS Methodの間で質量範囲、極性などに不一致がある場合は、バッチ内にあるすべてのサンプルの質量精度ドリフトにより、サンプル間キャリブレーションが失敗する。 (ACQ-2834)</p>	<p>次のいずれの方法でも問題を回避できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • MS Methodワークスペースで手動取得を完了してから、キャリブレーションサンプルなしでバッチを送信すると、サンプル間キャリブレーションは予測どおり機能します。バッチ内の最初のサンプルは、後続のサンプルをキャリブレーションする参照リストを生成するために使用されます。 • 手動取得中にキャリブレーションサンプルを使用してバッチを送信すると、サンプル間キャリブレーションは質量精度ドリフトが観察されずに予測どおり機能します。
<p>(X500 QTOFシステム) 500を超えるコンポーネントを用いてバッチを作成できる。 (ACQ-3073)</p>	<p>SCIEX OSは、最大500のコンポーネントをサポートします。500を超えるコンポーネントをバッチに追加しても、エラーは報告されません。しかし、バッチを閉じてから開いた際にエラーメッセージが表示されます。</p>
<p>ユーザーがMS Methodを開くと、Printボタンは使用できない。(ACQ-3301)</p>	<p>1メソッドを閉じてから再度開きます。</p>

問題	注
測定メソッドおよび処理メソッドからのインポート中に一貫性のない動作が発生し、そのために信頼性の低い評価結果が生成される。(BLT-284)	測定メソッドからインポートされる情報は、小数第2位までの質量精度で示されます。処理メソッドの質量精度の計算に使用される式では、小数第4位までの結果が生成されます。そのため、この2つのメソッドからは一貫性のない結果が提示されることがあります。
(X500 QTOFシステム) MRM HRメソッドで、MS Methodワークスペースでメソッド期間が変更されると、保持時間を検証できない。(BLT-961)	メソッドを保存してから閉じ、再び開きます。
スペクトルモード内でのDADでのデータ取得時にバッチ実行が失敗した。(BLT-978)	バッチの安定性を高めるために、SignalモードでDADを使用します。
DADパネルのリアルタイム更新が、メソッドで選択された応答時間よりも遅いことがある。(DS-853)	この問題を回避するには、DAD取得の頻度を下げるか、取得の完了後にデータを点検します。
データが正常に取得されても、キューに含まれるサンプルが失敗とマークされることがある。(DS-1016)	取得時の複雑なデータ処理中に、サンプルが正常に取得されて、キューが次のサンプルに移動しても、キュー内のサンプルが失敗としてマークされることがあります。これが発生した場合、サンプルおよびデータファイルは影響を受けておらず、探索や処理に使用できます。キューのアイコンを更新するには、ソフトウェアを再起動します。
Results Tableの作成中は、リアルタイムの更新が遅れる場合がある。(DS-1042)	取得の実行時や多数のExperimentを含むデータの処理時には、このような遅延が見られる場合があります。問題を回避するには、以下のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 取得するExperimentの数を減らします。 • Results Tableの作成に使用するExperimentの数を減らします。 • Results Tableの作成とデータの取得を同時に行わないようにします。
リアルタイムのUVデータ収集中に、XWCグラフとTWCグラフの間でピークのラベル表示が一致しない。(DS-1262)	問題を回避するには、Explorerワークスペースを使用して取得後のデータを検査します。
Data Acquisition パネルに、以前取得したサンプルが表示される。(DS-1384)	この問題が発生した場合は、ソフトウェアを再起動します。

問題	注
Agilent LC : SCIEX OS 1.2以前で作成されたバッチを開くと、 Rack code 、 Rack position 、 Plate code などのLC情報が失われる。(DS-2186)	このソフトウェアバージョンでは、これらのフィールドの定義は変更されています。再度入力してください。
(X500 QTOF システム) ソフトウェアが応答しなくなった後も、CDS は洗浄モードのままになる。(MSCS-666)	この問題が発生した場合は、Direct Control ダイアログでWash Mode オプションをオフにします。
ユーザーメッセージにイオン源ガス2の設定が含まれている。(MSCS-943)	APCIプローブの使用時には、イオン源ガス2の設定が特定の値でなければならないというユーザーメッセージが表示されます。ユーザーメッセージに含まれるイオン源ガス2の設定は無視してください。
プローブを切り替えると不正確なメッセージが表示される。(MSCS-972)	このエラーは、取得に影響は与えません。メッセージをキャンセルすれば、取得は続行されます。
(X500 QTOFシステム) MRM HRおよびSWATH [®] メソッドまたはMRM HRおよびIDAメソッドを使用してデータを取得しているときに、TOF MS実験が削除されると、取得が中止される。(MSCS-1059)	この問題を回避するには、TOF MS ExperimentをMRM HRメソッドから削除しないでください。
sMRMトリガーを使用してScheduledMRM TM アルゴリズムを使用するサーベイスキャンを使用するIDAメソッドでは、 Inclusion list は使用されない。(MSCS-2270)	sMRMトリガーでScheduledMRM TM アルゴリズムを使用するIDAサーベイスキャンで包含リストを使用しないでください。
MRMサーベイスキャンを使用したIDA実験が、sMRMトリガーが適用されたScheduledMRM TM アルゴリズムを使用する別の実験とループする場合、IDA基準の Intensity threshold exceeds フィールドで指定されたトリガーしきい値は、MRMサーベイスキャンの候補質量に適用されない。(MSCS-2283)	<ul style="list-style-type: none"> ループされたScheduledMRMTMアルゴリズムの実験でsMRMトリガーをオフにします。IDA強度しきい値は、MRMサーベイスキャンの候補質量に適用されます。 MRMサーベイスキャンを変更して、代わりにScheduledMRMTMを使用するようにし、目的の化合物の保持時間を0に設定します。IDA強度しきい値は、サーベイスキャンの候補質量に適用されます。
(X500 QTOFシステム) キャリブントを流す際、MS Methodワークスペースが更新されず、正しい情報が表示されない。(ONYX-1556)	ユーザーインターフェースは更新されませんが、パラメータは正しいものが使用され、ファイル情報にも反映されています。

問題	注
データに勾配があると、取得終了前にリアルタイムデータの更新が停止される。(ONYX-1682)	取得時にパラメータに勾配があると、リアルタイムおよび取得後データが一致しません。この問題を回避するには、分析に測定後データを使用します。
IDA測定時に潜在的延長時間がランダムサイクルに追加される。(ONYX-1764)	問題を回避するには、IDAを実行する前に、Google更新サービス（gupdateとgupdatem）（システムにある場合）および、Windowsバックアップが無効になっていることを確認します。
MS MethodとLC Methodのワークスペースで、Printダイアログが開かない、または開くのが遅い。(ONYX-3412)	Print（印刷）ダイアログが開くまで約1分待ちます。
結果ファイルを指定すると、ユーザーインターフェイスの問題が発生します。 Results File セルは正しく表示されない。(ONYX-4790)	列のサイズを変更するか、別のセルをクリックします。
バッチ内の Results File に指定されたファイルパスが長すぎる場合、自動処理が失敗する。(ONYX-4827)	バッチでは、 Results File パスの長さを300文字以下に制限します。
ルートディレクトリが定義されているが、パスが247文字未満の場合、「パス名が長すぎます」というメッセージが表示される。(ONYX-4981)	このメッセージは、ログオンしたユーザーがネットワークリソースへの書き込みアクセス権を持っていない場合にも表示されます。
Batchワークスペースに行を貼り付けるときに、コピーした行の Results File に値が含まれていない場合、貼り付けた行の Results File 列にMS Methodの名前が挿入される。(ONYX-5029)	バッチを編集して、影響を受ける行の Results File 列の内容を修正します。

問題	注
<p>MS Methodの質量表にcsvファイルをインポートする場合、インポートファイルの列数が質量表の列数よりも多い場合、エラーメッセージは表示されない。(ONYX-5216)</p>	<p>この問題は、テキストエディタを使用してコンマ（、）で区切られた列をcsvファイルの行に追加し、コンマと列のテキストが他の行に追加されない場合に発生します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 質量表をcsvファイルにエクスポートします。 2. エクスポートしたファイルをMicrosoft Excelで開きます。 3. 質量表を編集します。 4. 更新されたcsvファイルを保存します。 5. ファイルを再度インポートします。
<p>MS Method ワークスペースで、ユーザーがMS Methodの質量表を編集しているときに、Deleteキーが機能しない (ONYX-5467/ONYX-7384)</p>	<p>質量表のコンテンツを削除するには、次のいずれかの方法を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • テキストを削除するには、Backspaceキーを使用します。 • セルをダブルクリックして編集モードに入り、Deleteキーを使用します。 <p>次に、必要に応じて新しいテキストを入力します。</p>
<p>Excelスプレッドシートなどのファイルから行をコピーしてから、Batchワークスペースのグリッドに貼り付けると、一部のコンポーネントがグリッドに追加されない。 (ONYX-6068)</p>	<p>不足しているコンポーネントを手動でバッチに追加します。</p>
<p>Batchワークスペースの既存の行に行を貼り付けると、コンテンツが正しく貼り付けられない。(ONYX-6083)</p>	<p>この問題を回避するには、既存の行の上に貼り付けるのではなく、空の行を挿入してその中に新しい内容を貼り付けます。次に、既存の行を削除します。</p>
<p>Acquisition Methodsフォルダに破損したMS Methodが含まれている場合、BatchワークスペースのMS Method列で選択できるMS Methodがない。(ONYX-6795)</p>	<p>MS Methodのリストが空の場合は、破損したメソッドを見つけて削除します。</p>

問題	注
Queueワークスペースでは、決定ルール処理の結果として再注入されたサンプルは、元のサンプルに関連付けられた処理方法の名前ではなく、 Processing Method 列に *Embedded Method* と表示される。(ONYX-6896)	最初のサンプルが処理されると、結果ファイルが作成され、 Processing Method 列で指定された処理方法が新しい結果ファイルに埋め込まれます。したがって、再注入されたサンプルに指定された埋め込み方法は、最初のサンプルに指定された処理方法と同じです。
ユーザーが質量表の行を選択してから Fill Down コマンドを使用すると、エラーが発生します。(ONYX-7225/ONYX-7461)	コピーするセルの列を選択し、 Fill Down コマンドを使用します。行を選択しないでください
IDAデータの取得中に測定用コンピュータがWindowsリモートデスクトップで制御されている場合、取得パフォーマンスが低下し、データポイントが失われる可能性がある。(ONYX-7491)	IDAデータの取得中は、リモートデスクトップを使用して測定用コンピュータを制御しないでください。
LITメソッドの極性を変更すると、 Dynamic fill time がオンになります。(ONYX-7740)	Dynamic fill time をオフにします。
Scheduled MRM™ を使用する実験を含むメソッドで、ユーザーが極性を複数回変更すると、滞留時間が正しく更新されない。(ONYX-7841)	Scheduled MRM™ アルゴリズムを使用する実験で計算されたトランジションの滞留時間は、正しい滞留時間から数ミリ秒異なります。
負極性のMS ³ 実験では、AF2のデフォルト値は設定できない。(ONYX-8041)	負極性でMS ³ 実験のAF2にデフォルト値を設定した場合、デフォルト値は保存されません。 AF2のデフォルト値を負極性で保存するには、最初に、負極性に必要なAF2値で正極性を構成します。その後、負極性に変更し、デフォルト値を保存します。
AF2ランピングの Start at フィールドと Stop at フィールドに10進値を指定することはできない。(ONYX-8318)	必要な停止値に達したら、手動でランプを停止します。
CE spread フィールドは、ERスキャンに対してアクティブである。(ONYX-8328)	CE spread パラメータはERスキャンでは使用されません。このフィールドに入力された値は無視されます。

問題	注
<p>サーベイスキャンで <i>Scheduled MRM</i>TM が使用されている場合、複数の IDA 実験を使用して MS Method に第 2 レベルの IDA 基準が追加されると、ソフトウェアは応答を停止する。 (ONYX-8333)</p>	<p><i>Scheduled MRM</i>TM アルゴリズムを使用して MS³ 実験をトリガーするサーベイスキャンは、ループ IDA メソッドではサポートされていません。</p>
<p>決定ルール設定ダイアログで、処理方法が選択されている場合、Flagging Rules フィールドのリストには、処理方法で定義されているが適用されていない複合フラグ設定ルールが含まれている場合があります。つまり、Apply Rule チェックボックスは選択されていない。 (ONYX-8352)</p>	<p>処理方法に適用されていない複合フラグ設定ルールを選択した場合、決定ルールの処理はキューで実行されません。</p>
<p><i>Scheduled MRM</i>TM アルゴリズムを使用する MS Method は、無効なメソッド期間で保存できる。 (ONXY-8443)</p>	<p>スキャン時間が長すぎると、<i>Scheduled MRM</i>TM アルゴリズムを使用する MS Method の Duration が無効になる場合があります。メソッドを保存しようとする、エラーメッセージが表示され、Duration フィールドにエラーアイコンが含まれます。有効なメソッドの期間を指定し、期間を不正なメソッドの期間に戻してからメソッドを保存すると、メソッドは正常に保存されます。</p> <p>メソッドを保存する前に、正しいメソッド期間を決定してください。</p>
<p>MS Method ワークスペースで IDA データを取得しているときに、Open data exploration to view real-time data (A) をクリックすると、エラーダイアログが表示される。 (ONYX-8446)</p>	<p>IDA 実験を折りたたんで、IDA メソッドを送信し、次に (A) をクリックすると、エラーダイアログが表示されます。OK をクリックして、Explorer ワークスペースを開きます。</p> <p>この問題を回避するには、IDA 実験を折りたたまないでください。</p>
<p>複数の実験を含むメソッドを印刷すると、最初の実験の Nebulizer current のみが印刷される。 (ONYX-8462)</p>	<p>該当なし</p>
<p>SCIEX OS によって作成された wiff ファイルには、Analyst[®] ソフトウェアによって作成された wiff ファイルよりも詳細な MS Method 情報が含まれていない。 (ONYX-8546)</p>	<p>該当なし</p>

問題	注
(X500 QTOFシステム) <i>Scheduled MRM</i> ^{HR} メソッドが印刷される場合、レポートには質量表のすべての列が含まれているわけではない。(ONYX-8563)	印刷前にPrint (印刷) ダイアログでドキュメントの向きを横向きに変更します。
衝突エネルギー (CE) パラメータの極性が、負のIDA実験の極性で誤って表示される。(ONYX-8566)	CEの正しい値が取得に使用されます。
前述のすべてのステップを順番に完了しなかった場合、ステップ5 (衝突エネルギーの最適化) 中にエラーが表示される。(ONYX-8568)	OKをクリックします。
(s)MRM Plotsダイアログが開いているときは、そのダイアログは他のすべてのダイアログの前にあります。ダイアログが展開されると、ユーザーはSave (保存) ダイアログなどの他のダイアログを表示できなくなる可能性があります。(ONYX-8601)	次のオプションのいずれかを使用します。 <ul style="list-style-type: none"> • Alt+Escを押して、必要なダイアログが表示されるまで、開いているダイアログを切り替えます。 • Alt+F4を押して、基になるダイアログを閉じ、フォーカスを(s)MRM Plotsダイアログに戻します。 • Alt+Spaceを押して、基になるダイアログのコンテキストメニューを開きます。
複数のトランジションの保持時間と滞留時間が同じである場合、(s)MRM Plotsダイアログの滞留時間グラフのツールチップには最後のトランジションのみが表示される。(ONYX-8621)	該当なし
スケジュールされたイオン化機能が接点閉鎖で構成されたデバイスで使用される場合、接点閉鎖によって制御されるデバイスがサンプルの注入を開始する前にイオン化が開始される可能性がある。(ONYX-8626)	イオン化開始時間を長くして、接点閉信号を送信し、サンプル注入を開始できるようにします。


Analyticsワークスペースの問題

問題	注
プロジェクトのルートディレクトリにあるResults Tablesは開かない。	このエラーは、プロジェクトのルートディレクトリがAnalyst [®] ソフトウェアのルートディレクトリとして使用されている場合に発生します。Analyst [®] ソフトウェアは、ルートディレクトリのDefault/Project Informationフォルダに次のファイルを1つ以上作成します。 <ul style="list-style-type: none"> • ProjectSettings.atd • Default Audit Map.cam • Project.atd これらのファイルがProject Informationフォルダに存在する場合は、削除します。
両方の画像要素を含むカスタムテンプレートとクエリを使用してcsvレポートを作成した後は、Results Tableからレポートを作成できない。(BLT-1507)	問題を回避するには、サポートされているテンプレートの1つを使用してください。 デフォルトのテンプレート を参照してください。
ターゲットを絞っていないワークフローが使用されている場合、SCIEX OSは処理中に応答を停止する。(BLT-2069)	ターゲットを絞らないワークフローの場合、処理を一度に20サンプルに制限します。
SCIEX OSは、Results Tableで複数のイオンを合計するときにコンポーネントの名前を変更する。(BLT-2171)	個々のトランジションにはチャンネル名が付加され、合計されたチャンネルには「Sum」が付加されます。コンポーネント名がLIMSの名前と一致しないため、LIMSへのインポートは失敗します。
SCIEX OSにインポートされたMultiQuant [™] の定量メソッドでは、イオン累積パラメータは保持されない。(BLT-2172)	SCIEX OSの処理方法でイオン合計パラメータを設定します。
Analyst [®] ソフトウェアデータでは、LITスキャンにおいてQ3分解能が最大として報告される。(DS-2220)	Analyst [®] ソフトウェアのExploreモードでデータを開きます。
csvレポートは、グラフィックやロゴをサポートしていない。(MQ-1361)	csvレポートは、図が含まれない場合のみサポートされます。

問題	注
プロジェクトのデフォルトページで1つのアルゴリズムのregression settingsを変更すると、他のアルゴリズムのregression settingsが更新される。(MQ-1376)	regression settingsフィールドは、選択したアルゴリズムと無関係ではありません。あるアルゴリズムでregression settingsフィールドを変更すると、他のアルゴリズムの対応するフィールドも変更されます。問題を回避するには、アルゴリズムを切り替える際に、アルゴリズムの必要に応じてregression settingsを更新する必要があります。
名前のないライブラリをインポートするとエラーが発生する。(MQ-1379)	この問題を回避するには、ライブラリをインポートする前に、ライブラリに名前を割り当ててください。
グループに含まれる個々のコンポーネントの予測保持時間（ Update Retention Time 機能が Group に設定されている場合）が変更可能で、その結果グループ内の予測保持時間と保持時間ウィンドウが一致しなくなる。(MQ-1511)	Expected RT は、グループ内の各コンポーネントについて手動で変更できます。
ライブラリ検索とFormula Finderのスコアが両方ともゼロ、または存在しない場合に、合計スコアがゼロ以外の値になる。(MQ-1545)	ソフトウェアではライブラリ検索とFormula Finderのスコアに加え、質量誤差、アイソトープ、および保持時間のスコアを使用して合計スコアが計算されます。これらのスコアを含めない場合は、それぞれの加重をゼロに設定してください。
ライブラリをデータベースに追加またはデータベースから削除しても、保存したResults Tableが自動的に更新されない。(MQ-1684)	問題の発生を回避するには、更新されたライブラリデータベースに基づいて手動で結果の再処理を行ってください。
ライブラリ検索で、低品質のスペクトルから予測よりも高い純度が報告される。(MQ-1679、MQ-1773)	この問題が発生した場合は、保持時間、ピーク品質、および積分を確認し、化合物が陽性か否かを確認してください。
化合物固有の判定基準を参照できない。(MQ-1822)	現在、ライブラリ検索ではグローバル設定のみが参照可能になっています。
LibraryView Package Builderで作成されたライセンス付きパッケージ用のライセンスがC:\Program Files\AB SCIEX\LibraryView\binに保存されている。(MQ-1847)	LibraryView Package Builder 1.0で作成されたライセンス化パッケージ用のライセンスは、手動でC:\Program Files\SCIEX\LibraryView\LibraryViewFramework\Serverにコピーする必要があります。

問題	注
<p>ループExperimentまたは複合Experiment使用時、二重で減算されたMS/MSスペクトルがPeak Review パネルに表示される。(MQ-1848)</p>	<p>これは問題ではなく、ソフトウェアは正常に動作しています。単一のIDA Experimentには単一の減算されたスペクトルが表示されます。</p>
<p>処理メソッドがAutoPeak統合アルゴリズムを使用している場合、埋め込み処理メソッド内の互換性のないコンポーネントが正しく処理されない。(MQ-1873)</p>	<p>AutoPeak統合アルゴリズムを使用する既存の処理方法を使用して、現在選択されているサンプルを使用してモデルを作成するオプションでデータを処理すると、Results Tableが正しく表示されます。ただし、互換性のないコンポーネントは、埋め込まれているメソッドに赤いエクスクラメーションマークで示されます。この動作を回避するには、互換性のないコンポーネントをメソッドから削除するか、フラグメント質量の保持時間またはExperiment内容を修正します。</p>
<p>累積積分アルゴリズムを使用する処理メソッドに互換性のないコンポーネントが含まれていると、ソフトウェアは応答を停止する。(MQ-1888)</p>	<p>累積積分アルゴリズムを使用する既存の処理メソッドが使用され、そのメソッドがデータと完全に互換性がない場合、ソフトウェアは応答を停止します。この問題が発生した場合は、メソッドを編集して互換性のないコンポーネントを削除してください。</p>
<p>Positive Hit template を使用して2 500行を超えるResults Tableから保護されたPDFレポートを作成するためにPDFFactoryを使用すると、ソフトウェアが応答しないように見える。(MQ-1896)</p>	<p>レポートの作成には、ある程度時間がかかります。PDFFactoryの進行状況ウィンドウは常にバックグラウンドで表示され、PDFの作成が進行中であることを示します。PDFFactoryの進行状況ウィンドウを表示させるために、SCIEX OSを含むすべてのウィンドウを最小化できます。</p>
<p>Peak Review ペインが開いていると、一部のクロマトグラムが表示されない。(MQ-2070)</p>	<p>この問題が発生する場合は、Results Tableのインデックスをクリックします。</p>
<p>画面右上隅の青いX をクリックしてAnalyticsワークスペースを閉じた後に、ワークスペースと結果表を再度開くと、Samples ペインとComponents and Group ペインが更新されない。(MQ-2074)</p>	<p>この問題が発生する場合、画面内をクリックして、ペインを更新します。</p>
<p>Method Editor でIS名をコンポーネントテーブルに貼り付けることができない。(MQ-2193)</p>	<p>問題を回避するには、IS名を手動で選択するか、IS列を個別に貼り付けます。</p>

問題	注
CPUアーキテクチャの異なる別のコンピュータで生成されたAutoPeakの結果は、11桁目に違いがある。(MQ-2316)	Results Tableビューはカスタマイズできます。開いているResults Tableで、 More > Results Tables > Display settings をクリックし、 Number Format フィールドを11未満の値に設定します。値が11以上の場合は、結果の違いがわかります。
システムがデータを取得している間に、ユーザーがデータを処理すると、大きな一時ファイルが作成されることがある。大きな一時ファイルは、システムのパフォーマンスに影響を与える可能性がある。(MQ-2382)	同じコンピュータ上でデータを取得して処理中にシステムが応答を停止した場合は、Cドライブにある\Update\Local\Tempファイルを削除します。
変更を加えていなくても、Results Tableへの変更の保存を要求するプロンプトが表示される。(MQ-2400)	qセッションファイルを別のフォルダに移動してから、変更せずにResults Tableを開閉すると、変更の保存を要求するプロンプトが表示されます。 Save または Cancel を選択できます。データ分析は影響されません。
ユーザーは、無効な方法でデータを処理し、Results Tableを作成することができます。(MQ-2431)	問題を回避するには、以前のバージョンのSCIEX OSで作成されたメソッドを開かなければなりません。エラーが修正されない場合は、処理時間が影響を受けることもあります。
ソフトウェアで、SCIEX X500 QTOFシステム用のQ1スキャンからのデータの定量的処理や定性的処理ができない。(MQ-2790)	SCIEX X500 QTOFシステムからのQ1データが、Analyticsワークスペースで処理できません。
UV、DAD、ADCデータ上でAutoPeak積分アルゴリズムを使用した場合、処理前にモデルが構築するのに長い時間がかかる。(MQ-4421)	ピーク形状が良くないUV/DAD/ADCデータに対しては、AutoPeak積分アルゴリズムを使用しないでください。
フィルタリングが不適切に適用され、適切な行が表示されない。(MQ-4823)	Filter By Flagの前に Text Filters が選択された場合、Filter By Flagフィルターは正しく適用されません。必ずFilter By Flagフィルターを最初に選択してください。
Results Tableペインは、埋め込みの処理メソッドが編集された後、読み取り専用になる。(MQ-5082)	Results Tableを閉じてから再度開きます。

問題	注
<p>Concentration AcceptanceのUpper Limit列の値、またはフラグ設定ルールのコンプォネントタイプごとの値テーブルをコピーしようとする、エラーが発生する。(MQ-5599)</p>	<p>表に値を入力します。</p>
<p>Mass Reconstructionワークフローでは、Results Tableに報告された信号対雑音 (S/N) 値が、再構成されたピークに対して正しく計算されない。(MQ-7073)</p>	<p>S/Nを計算するには、Explorerワークスペースで平均m/zスペクトルを開き、手動で再構成を行い、ターゲットピークのS/Nを計算します。</p> <hr/> <p>注：この回避策には Biotool Kit のライセンスが必要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Peak Review ペインで平均スペクトルを選択します。 2. Open data exploration () をクリックします。 3. Bio Tool Kit > Reconstruct Protein をクリックし、分解能値を入力し、再構成パラメータを指定して、再構成を実行します。 4. S/Nを手動で計算します。ソフトウェアユーザーガイドの『グラフ選択情報の表示』を参照してください。
<p>処理方法のコンポーネントページのテーブル設定で、Mass (Da) and Width (ppm)を表示するように設定した場合にエラーが表示される。(MQ-7709)</p>	<p>SCIEX Triple Quad™ 7500 System – QTRAP® 準備完了などの公称質量システムの場合、XIC幅 (ppm) はサポートされていません。Use XIC width (Da).</p>
<p>ユーザーがPeak ReviewペインでOpen data explorationをクリックして、ExplorerワークスペースのUVデータを含むデータファイルを表示すると、XIC UVグラフは表示されない。(MQ-7723)</p>	<p>Explorerワークスペースでデータファイルを開きます。</p>

Explorerワークスペースの問題

問題	注
<p>IDA+DADデータファイルでDADの等高線図とXWCを同時に生成しようとした際に、SCIEX OSは応答を停止するか、エラーを生成する。この問題が発生するのは、DAD等高線パネルの生成を開始し、バックグラウンドで更新しているときに同時にXWCにアクセスする場合のみである。(BLT-498)</p>	<p>この問題が発生した場合は、次のいずれかの操作を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • まずXWCを生成してから、DAD等高線パネルを生成します。 • XWCを生成する前に、等高線パネルの更新が完了するまで待ちます。
<p>「要求されたアクションを完了できませんでした。データが完全であり、すべてのフィールドに適切な値が含まれていることを確認してください」というエラーが数式ファインダーに表示される。(BLT-1423)</p>	<p>このエラーは、選択されたイオンの構造がFormula Finder で予測されたもので、Formula Finder 設定ダイアログの元素組成タブの正イオンのリストに含まれていない場合に発生します。たとえば、m/z 1004のイオンの場合、Formula Finderは (M + NH₄)⁺に一致します。このイオンが検索する陽イオンのリストに含まれていない場合、一致するものが見つからないとエラーが発生します。</p>
<p>取得中にユーザーがデータを検索すると、以下の問題が発生する可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スケジュールされたスキャンのXICおよびBPCが予定時間より前に生成された場合は、リアルタイムデータが取得後のデータと一致しない。(DS-903/DS-1092) • ExplorerワークスペースでMove to nextまたはMove to previousを使用してMS実験を切り替え、リアルタイムで生成された抽出イオンクロマトグラム (XIC) またはベースピーククロマトグラム (BPC) を表示した場合、XIC / BPCペインには1つのポイントのみが表示される。 	<p>この問題を回避するには、以下の手順に従います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • File > Show XICをクリックして、必要な実験のXICを生成します • 取得後のXIC/BPCを生成します。 • XICペインを閉じて再度開きます。

問題	注
<p>Data AcquisitionパネルのMSタブとDADタブに表示されるリアルタイムのデータスペクトルの更新は、Explorerワークスペースよりも遅くなる場合がある。(DS-934)</p> <p>MSおよびDAD Data Acquisition パネルとExplorerワークスペースのリアルタイムグラフの不一致は、LCメソッドの持続時間がMS Methodよりも長い場合に発生する。このシナリオでは、UV、DAD、またはADCチャンネルがLCメソッド収集時間の終わりまで Explorerワークスペースでリアルタイム更新され続けても、MS Method持続時間の終わりにMSおよびDAD Data Acquisitionパネルの更新が停止する。(DS-852)</p>	<p>この問題が起こり始めた場合は、取得が完了するまで待ってから、データの探索を行ってください。</p>
<p>Explorerワークスペースで、Detector Optimizationデータが正しく表示されない。(DS-1044)</p>	<p>Z軸（検出器の電圧）のラベルが不正確になります。問題を回避するには、Detector Optimization Reportレポートまたはデータ収集パネルを使用して、検出器最適化プロセス中に取得されたデータを検査します。</p>
<p>測定中にランプパラメータが付いた測定メソッドからのデータが表示されると、データが更新されなくなり、結果のスペクトルが正しくなくなる。(DS-1959)</p>	<p>測定が完了するまで、ランプパラメータを含む測定メソッドのデータを表示させないでください。</p>
<p>サンプルがMS Methodのワークスペースで初めて取得された時や、新しく取得されたサンプルがExplorerワークスペースで開かれた時に、「This sample is corrupted」というメッセージが断続的に表示される。(DS-2281)</p>	<p>OKをクリックして、メッセージを認識します。サンプルは通常どおり処理できます。</p>

問題	注
<p>XICのハイライト表示された領域からスペクトルを生成できない。(ONYX-1882)</p>	<p>以下の操作を行うと、エラーメッセージが表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Explorerワークスペースにある別のペインで2つのファイルを開いて、各ファイルのXICグラフを生成する。 2. 単一ペインでXICグラフを結合する。 3. XICペインで領域をハイライトし、ダブルクリックしてスペクトルを生成する。 4. Process All Overlays? ダイアログが表示されたら、All Overlaidをクリックしてから、OKをクリックする。 スペクトルの代わりに、「Incorrect Argument - invalid cycle range」というエラーメッセージが表示される。 <p>問題を回避するには、グラフが重なっているより狭い領域を選択します。</p>
<p>Explorerワークスペースで大量のデータまたは複数のデータファイルを処理すると、ユーザーインターフェースが応答を停止し、サンプルキューが次のサンプルに移動するまでに遅延が生じることがある。(ONYX-2047/DS-1688)</p>	<p>この問題が発生した場合は、Explorerワークスペースで処理が完了するのを待つか、データ収集中に大量のデータを処理しないようにします。</p>
<p>Explorerワークスペースで、XICトレースの番号ラベルがまぎらわしい。(PV-1009)</p>	<p>表示されている値は、ピークのセントロイドを表すため、正確です。Fill Peaksをクリックすると、ピークがよく見えるようになります。ピークラベルは、対象となるピークの位置に関わらずその最高点に配置されるため、ラベルの位置が不正確なように見える場合がありますが、値は正確です。</p> <p>この問題が起こる場合は、取得が完了するまで待つから、データの探索を行ってください。</p>
<p><i>Scheduled MRM</i>TMデータファイルを開き、サンプルを選択してロードした後、Show Sample Informationをクリックすると、IDA実験のサンプル情報が表示されません。(PV-1330)</p>	<p>この問題は、ワークフローに影響を及ぼしません</p>

MS Tuneワークスペース問題

問題	注
マニュアルチューニング中、 Save Settings をクリックしても最適化されたパラメータ値が装置定義ファイルに保存されない。(ACQ-2519)	マニュアルチューニング中は、最適化されたパラメータ値が保存されません。問題を回避するには、マニュアルチューニングモードでチューニング手順をすべて完了します。
Q1の中心質量を選択しても、リアルタイムスペクトルの質量範囲が正しく更新されない。(DS-915)	この問題を回避するには、開始および停止質量を、Q1センター質量の範囲をカバーするように設定します。
ユーザーが質量分析装置のチューニングを行い、新しい装置設定を保存した後、以前に保存した装置設定を復元した場合、監査記録は不完全なものとなる。(ONYX-8392)	該当なし

レポーターの問題

問題	注
ユーザーがレポートテンプレートを編集しようとする、Microsoft Officeドキュメントのカスタマイズエラーが発生する。	このエラーは、TemplateContentControlManagerがインストールされていないために発生します。次の手順を実行します： <ol style="list-style-type: none"> 1. C:/Program Files/AB Sciex/ReporterOfficeAddins/ TemplateContentControlManagerに移動します。 2. TemplateContentControlManager.vstoをダブルクリックします。 3. TemplateContentControlManagerがインストールされている場合は、Closeをクリックします。それ以外の場合は、Installをクリックして、画面の指示に従います。

ソフトウェアのインストールや有効化における問題

問題	注
不正確なユーザーアカウントが使用されている場合、SCIEX OSをインストールできない。(BLT-340)	sciex.com/request-support に問い合わせます。ソフトウェアのインストールや削除は、必ず管理者が実行する必要があります。
Installation Wizardの複数のインスタンスが開いている場合、SCIEX OSをインストールできない。(BLT-341)	SCIEX OSのインストールウィザードを2つ開いて、2番目のインストールを続行しようとする（1つ目を閉じたかどうかに関わらず）、インストールが失敗する。この問題を回避するには、必ずInstallation Wizardを1つだけ開いて、インストールを続行してください。
ChemSpiderのライセンスが失効した後、新しいライセンスをインストールしてChemSpiderセッションを開始しようすると、ChemSpiderのライセンスがないという警告メッセージが表示される。(BLT-985)	SCIEX OSを閉じてから再度開き、それからChemSpiderを再開します。
SCIEX OSをアンインストールできない。(BLT-1024)	SCIEX OSをアンインストールできない場合は、Microsoft .NET 2.0が起動しているか確認します。詳細はMicrosoft Helpを参照してください。もう一度やり直してください。
ソフトウェアがバージョン2.0からバージョン1.3にダウングレードされると、Batch、QueueおよびUserワークスペースは無くなる。(OFX-489)	<p>SCIEX OS 1.3インストールのバックアップがない場合、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SCIEX OS 2.0を削除します。 2. LibraryView™ Frameworkを削除します。 3. C:\Program Data\SCIEX\フォルダの名前を変更します。 4. C:\Program Files\SCIEX\フォルダの名前を変更します。 5. D:\SCIEX OS Data\フォルダの名前を変更します。 6. SCIEX OS 1.3をインストールします。 <p>SCIEX OSの再設定と、全メソッド、設定、ユーザーなどの再作成が必要です。</p>

問題	注
<p>Setup.exeを使ってSCIEX OS 1.3以降を削除しようとしてもできない。(ONYX-2124)</p>	<p>Setup.exeを使ってSCIEX OS 1.3以降を削除しようとすると、Windowsのプログラムと機能からSCIEX OSのエントリが削除されます。ただし、プログラムは残っているため、開くことができます。SCIEX OSを削除するには、SCIEX OSフォルダからSetup.exeを実行して、画面上の指示に従ってソフトウェアをインストールします。このプロセスによりSCIEX OSのエントリが、Windowsのプログラムと機能のリストに戻ります。プログラムと機能のリストを使って、SCIEX OS 1.3以降を削除します。</p>
<p>SQLサーバーの問題またはLibraryView™Frameworkの問題が原因で、SCIEX OSがインストールに失敗する場合があります。(ONYX-2987)</p>	<p>この問題が発生した場合は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. LibraryView™ソフトウェアがインストールされている場合は削除します。 2. LibraryView™Frameworkがインストールされている場合は削除します。 3. Microsoft SQL Server 2008の全コンポーネントを削除します。 4. コンピュータをシャットダウンしてから再起動します。 5. SCIEX OSをインストールします。 <p>インストールの問題が解決しない場合は、 C:\Program Files\Microsoft SQL Servier\MSSQL10_50.SQLEXPRESS \MSSQL\DATA folderからLibraryView.mdfおよびLibraryView_log.mdfファイルを削除する必要があります。</p> <hr/> <p>注：ライブラリはmdfファイルに保存されているため、これらのファイルを削除すると既存のライブラリも削除されるため、再インストールが必要となります。</p>
<p>.NET Framework 4.x (ONYX-8028) がインストールされていないコンピュータにSCIEX OSをインストールすると、エラーが表示される。</p>	<p>この問題が発生した場合は、インストールパッケージにある Install\NDP472-KB4054530-x86-x64-AllOS-ENU.exe を使用してインストールしてください。</p>

MS FW Updaterに関する問題

問題	説明
MS FW UpdaterユーティリティがDVDから実行できない。(BLT-597)	質量分析装置のファームウェアを更新するには、FirmwareUpdaterフォルダをD:\ドライブにコピーし、その場所からユーティリティを実行します。

デフォルトのテンプレート

Template (テンプレート)	テンプレートの説明 (レポートの作成ダイアログに表示)	その他の注意事項
All Peaks Qual (すべてのピーク品質)	各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、分析試料Results Table、および全分析試料と内部標準が重なったクロマトグラムで構成されたセクションが表示されます。分析試料Results Tableは、Results Tableで表示されているように印刷されます。定性分析の信頼信号灯は、すべて表の先頭に示されません。	該当なし
Analyte 20 percent Report (20パーセントのレポートを分析)	各分析試料について、ファイル情報、および各ブランク、標準、QCとすべての不明サンプルの20%に関するXIC表のあるセクションを示すレポート。	これは、クエリ (Analyte20percent.Query) が添付されたレポートテンプレートの例です。
Analyte Summary (分析試料概要)	特定の分析対象物および関連する内部標準のバッチ内のすべてのサンプルのサンプル名、計算された濃度、および外れ値を示す結果の表。	該当なし

Template (テンプレート)	テンプレートの説明 (レポートの作成ダイアログに表示)	その他の注意事項
Calibration Curve (キャリブレーションカーブ)	分析試料のファイル情報、統計表 (標準)、分析試料の検量線を1ページずつ表示したレポート。	<ul style="list-style-type: none"> • [報告可能]チェックボックスがオフになっている標準は、データテーブルに報告されません。統計は、報告可能ステータスの影響を受けません。 • レポートには、Used列のステータスに基づいて、Analyticsワークスペースの[検量線]ペインに表示および計算された回帰方程式とグラフが表示されます。
インタクト定量すべてのピークとグラフ	各サンプルのResults Tableエントリを示すレポート。Results Tableに表示されているすべてのカラムがレポートに表示されています。レポートには、各サンプルと分析試料についてのXICクロマトグラフ、平均スペクトル、再構成スペクトルも含まれています。	<ul style="list-style-type: none"> • このレポートは、Mass Reconstructionワークフローに固有のものであります。
インタクト定量分析試料の概要とキャリブレーションカーブ	各分析試料のResults Table項目、検量線、統計データを表示したレポートです。Results Tableには、サンプル名、サンプルタイプ、分析対象物名、実際の濃度、面積、高さ、予測されるMW、MW、MWデルタ、計算された濃度、および精度が含まれます。	<ul style="list-style-type: none"> • このレポートは、Mass Reconstructionワークフローに固有のものであります。
インタクト定量サンプルの概要	すべてのサンプルのResults Tableエントリを示すレポート。Results Tableには、サンプル名、サンプルタイプ、分析対象物名、実際の濃度、面積、高さ、予測されるMW、MW、MWデルタ、計算された濃度、精度、および精度判断が含まれます。	<ul style="list-style-type: none"> • このレポートは、Mass Reconstructionワークフローに固有のものであります。

Template (テンプレート)	テンプレートの説明 (レポートの作成ダイアログに表示)	その他の注意事項
Metric Plot (メトリックプロット)	各分析試料について、ファイル情報と分析試料のピーク面積のメトリックプロットで構成されたセクションが表示される安定したレポートです。	<ul style="list-style-type: none"> • Reportableチェックボックスの状態は、レポートの内容には影響しません。チェックボックスがオフの場合でも、すべてのデータポイントが含まれます。
MQ Analyte Report 1 (MQ分析試料レポート 1)	各分析試料について、ファイル情報、サンプルResults Table、および各サンプルのXIC表を含むセクションを表示するレポートは、8サンプル未満の分析試料については、通常、1分析試料につき2ページを印刷します。	該当なし
MQ Analyte Report 2 (MQ分析試料レポート 1)	各分析試料について、ファイル情報、および各サンプルのXIC表を含むセクションを表示するレポートは、8サンプル未満の分析試料については、通常、1分析試料につき2ページを印刷します。	<ul style="list-style-type: none"> • 不明なものだけが報告されます。
MQ Analyte Report 3 (MQ分析試料レポート 1)	各分析試料について、ファイル情報および不明のサンプル概要表のあるセクションを示すレポート。	<ul style="list-style-type: none"> • 不明なものだけが報告されます。
MQ_Analyte Report condensed table (MQ分析試料レポート要約表)	不明の各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および結果概要表のあるセクションを示すレポート。この表は、ページあたりのサンプル数を増やすために2列で示されています。	<ul style="list-style-type: none"> • 不明なものだけが報告されます。
MQ Analyte Report with chromatograms (クロマトグラムのMQ分析試料レポート)	各分析試料について、各サンプルのファイル情報、サンプルResults Table、および小さいクロマトグラムのあるセクションを示すレポート。	<ul style="list-style-type: none"> • 不明なものだけが報告されます。

Template (テンプレート)	テンプレートの説明 (レポートの作成ダイアログに表示)	その他の注意事項
MQ Blank Template (MQブランクテンプレート)	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> レポートには、ヘッダー情報、ロゴ、およびページ番号のみが表示されます
MQ Pep Quant	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> Peptide Quantitationデータセットで使用します。MultiQuant™ソフトウェアのユーザーガイドの2番目の例である絶対定量の例を参照してください。
MQ QC Summary 1 with flags (フラグ付きのMQ QCサマリー1)	ファイル情報、分析試料あたりのQC概要表 (20%よりも高いCVのある値がハイライトされます)、およびQC詳細Results Table (80~120%精度を外れる値がハイライトされます) を示すレポート。	<ul style="list-style-type: none"> Reportableチェックボックスをオフにされている品質管理は、レポートには含まれず、計算にも使用されません。
MQ Sample Report 1 (MQサンプルレポート1)	各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、IS情報、分析試料Results Table、ISおよび各分析試料を含むXIC表のあるセクションを示すレポート。通常、8サンプル未満の場合はサンプルごとに2ページを印刷します。	該当なし
MQ Sample Report 2 (MQサンプルレポート2)	不明なサンプルごとに、ファイル情報、TIC、サンプルの詳細、分析試料XIC、および結果を表形式で含むセクションを示すレポート。8サンプル未満のサンプルでは、1サンプルにつき通常2ページの印刷となります。	<ul style="list-style-type: none"> 不明なものだけが報告されます。
MQ Sample Report 3 (MQサンプルレポート3)	不明の各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および結果概要表のあるセクションを示すレポート。	<ul style="list-style-type: none"> 不明なものだけが報告されます。

Template (テンプレート)	テンプレートの説明 (レポートの作成ダイアログに表示)	その他の注意事項
MQ Sample Report condensed table (MQサンプルレポート要約表)	不明の各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および結果概要表のあるセクションを示すレポート。この表は、ページあたりの分析試料を増やすために2列で示されています。	<ul style="list-style-type: none"> 不明なものだけが報告されます。
MQ Sample Report with chromatograms (クロマトグラムのMQサンプルレポート)	各サンプルについて、各分析試料のファイル情報、サンプル情報、分析試料Results Table、および小さいクロマトグラムのあるセクションを示すレポート。	<ul style="list-style-type: none"> 不明なものだけが報告されます。

Template (テンプレート)	テンプレートの説明 (レポートの作成ダイアログに表示)	その他の注意事項
<p>MQ Sample Report with Concentration Threshold (濃度しきい値付きMQサンプルレポート)</p>	<p>不明の各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および結果の合計のあるセクションを示すレポート。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 関連するクエリファイルは、Sample Report with Concentration Threshold.queryです。 • コンポーネントには「Cmpd X #」という名前を付ける必要があります。ここで、XはAからFまでの任意の文字で、#は任意の数値です。 例：レポートでは、「Cmpd A 1」という名前のコンポーネントが見出しCompound Group Aの下に表示されます。「Cmpd B 1」という名前のコンポーネントは、Compound Group Bの下に表示されます。 • コンポーネントが同じグループにある場合、グループ内のアルファベット順の最初のコンポーネントのみがレポートに含まれます。 例1：「Cmpd B 25」と「Cmpd C 1」の両方がグループ「Grp」に属している場合、「Cmpd C 1」はレポートに含まれません。 例2：「Cmpd A 1」、「Cmpd A 2」、および「Cmpd A 3」がグループに割り当てられていない場合、「Cmpd A 2」および「Cmpd A 3」はレポートに含まれません。 例3：「Cmpd A 1」、「Cmpd A 2」、および「Cmpd A 3」がそれぞれグループ1、2、および3に割り当てられている場合、3つのコンポーネントすべてがレポートの見出しCompound Group Aの下に表示されます。

Template (テンプレート)	テンプレートの説明 (レポートの作成ダイアログに表示)	その他の注意事項
MQ Sample Report with MRM ratios 2 (MRM比率のMQサンプルレポート2)	不明の各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、結果概要表を含むセクション、およびすべてのXICのオーバーレイを示すレポート。予測イオン比は、利用可能なすべての標準を使って自動的に算出されます。比率の値はResults Table内のカスタム列に置かれています。予測の20%を外れる値はいずれもフラグが立てられます。クオンティファイアの分析試料名は、ブランクスペースの後に数字の1で終わる必要があります。比率を表すイオン分析試料名は、ブランクスペースの後に数字の2~9で終わる必要があります。	該当なし
MQ Sample Report with MRM ratios EU (MRM比率付きMQサンプルレポートEU)	不明の各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および結果概要表のあるセクションを示すレポート。予測イオン比は、利用可能なすべての標準を使って自動的に算出されます。比率の値はResults Table内のカスタム列に置かれています。予測を外れる値はいずれもフラグが立てられます (比率許容範囲に関するEUガイドラインを使用)。クオンティファイアの分析試料名は、ブランクスペースの後に数字の1で終わる必要があります。比率を表すイオン分析試料名は、ブランクスペースの後に数字の2~9で終わる必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> • 関連するクエリファイルは、MRM ratios EU.queryです。

Template (テンプレート)	テンプレートの説明 (レポートの作成ダイアログに表示)	その他の注意事項
MQ Sample Report with MRM ratios (MRM比率付きサンプルレポート) MQ EFAB 03	不明の各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および結果概要表のあるセクションを示すレポート。予測イオン比は、利用可能なすべての標準を使って自動的に算出されます。比率の値はResults Table内のカスタム列に置かれています。予測の20%を外れる値はいずれもフラグが立てられます。クオンティファイアの分析試料名は、ブランクスペースの後に数字の1で終わる必要があります。比率を表すイオン分析試料名は、ブランクスペースの後に数字の2~9で終わる必要があります。	該当なし
MQ Sample Report with MRM ratios (MRM比率付きMQサンプルレポート)	不明の各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および結果概要表のあるセクションを示すレポート。予測イオン比は、利用可能なすべての標準を使って自動的に算出されます。比率の値はResults Table内のカスタム列に置かれています。予測の20%を外れる値はいずれもフラグが立てられます。クオンティファイアの分析試料名は、ブランクスペースの後に数字の1で終わる必要があります。比率を表すイオン分析試料名は、ブランクスペースの後に数字の2~9で終わる必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> • 関連するクエリファイルは、MRM ratios.queryです。

Template (テンプレート)	テンプレートの説明 (レポートの作成ダイアログに表示)	その他の注意事項
MQ Sample Report with standards, QC, and blanks (標準、QC、およびブランクを含むMQサンプルレポート)	サンプルごとに、ファイル情報、標準サマリーテーブル、QCサマリーテーブル、ブランクResults Tableを含むセクションを示すレポート。次に、不明のサンプルごとに、ファイル情報、サンプル情報、IS情報、分析試料Results Table、ISおよび各分析試料を含むXICテーブルを含むセクション。通常、8サンプル未満の場合はサンプルごとに2ページを印刷します。	<ul style="list-style-type: none"> • Reportableチェックボックスがオフになっている標準および品質管理は、レポートのそれぞれの要約表に表示されず、統計計算にも使用されません。
MQ Tutorial Dataset Heavy Light (MQチュートリアルデータセットヘビーライト)	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> • このレポートは、Tutorial Dataset Heavy Lightデータセットでの使用を目的としています。MultiQuant™ソフトウェアのユーザーガイドの2番目の例である相対定量の例を参照してください。
Per Sample Quant-Qual	選択した各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および選択した分析試料の分析試料Results Tableで構成されたセクションを表示するレポートです。分析試料Results Tableは、Results Tableで表示されているように印刷されます。定性分析の信頼信号灯は、すべて表の先頭に示されます。	該当なし
Per Sample Quant-Qual Visible Rows Using Visible Analyte	選択した各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および選択した分析試料の分析試料Results Tableで構成されたセクションを表示するレポートです。分析試料Results Tableは、Results Tableで表示されているように印刷されます。定性分析の信頼信号灯は、すべて表の先頭に示されます。	<ul style="list-style-type: none"> • 行の非表示状態は、Reportableチェックボックスの状態よりも優先されます。Reportableチェックボックスが選択されているが行が非表示になっている場合、その行は報告されません。

Template (テンプレート)	テンプレートの説明 (レポートの作成ダイアログに表示)	その他の注意事項
Per sample Quant-Qual with statistics (サンプルごとの統計量を持つ Quant-Qual)	WYSIWYGテーブルを使用して各サンプルのコンポーネントを示すレポート。XIC、MS、およびMS/MSが表示されます。エリアの統計要約表は、レポートの最後に表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> • コンポーネントテーブルにUVコンポーネントがある場合、UVトレースはレポートのXICグラフの下に報告されます。 <hr/> <p>注： UVコンポーネントの名前が[compound_nameuv]または[uv]の形式の場合、uvサフィックスはUV MS Qualレポートに関連付けられているため、UVトレースはレポートされません。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> • サンプルにQCのラベルが付いていて、サンプルが2つ以上ある場合、平均、STDEV、および%CVが計算され、レポートの最後にあるQC要約表に含まれます。 • QC行のReportableチェックボックスがオフになっている場合、その行はQCサマリーテーブルの計算に使用されません。
Per Analyte Quant-Qual	各分析試料について、ファイル情報、Results Table、キャリブレーションカーブ、および内部標準と各分析試料のクロマトグラムで構成されたセクションが表示されます。このテンプレートは、グループが定義されたResults Tableに適しています。	該当なし

Template (テンプレート)	テンプレートの説明 (レポートの作成ダイアログに表示)	その他の注意事項
Positive Hits Qual	<p>選択した各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、選択した分析試料の分析試料Results Table、すべての分析試料、内部標準、XICが重なったクロマトグラム、取得/理論的MSスペクトル、選択した各分析試料の取得/ライブラリMS/MSスペクトルで構成されたセクションが表示されます。分析試料Results Tableは、Results Tableで表示されているように印刷されます。定性分析の信頼信号灯は、すべて表の先頭に示されます。</p>	<p>該当なし</p>
Qual CSV Report	<p>各サンプルについて、ファイル情報、サンプル情報、および分析試料Results Tableで構成されたセクションを表示する.acsvフォーマットのレポートです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • レポート形式にはCSVオプションを使用することをお勧めします。

Template (テンプレート)	テンプレートの説明 (レポートの作成ダイアログに表示)	その他の注意事項
サンプルの概要	各サンプルについて、分析試料の要約表のセクションを示すレポート。このレポートテンプレートは、グループが定義されたResults Tableに適しています。	該当なし
UV MS Qual report (UV MS Qualレポート)	各サンプルについて、そのサンプルのコンポーネントとそれに対応するUVコンポーネントをWYSIWYGテーブルで示すレポートXIC、MS、およびMS/MSがUVデータとともに表示されますエリアの統計要約表は、レポートの最後に表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> • UVMSデータは、質量分析装置 (MS) コンポーネントの命名規則化合物1 (任意の文字列) および対応するUVコンポーネントの化合物1uv (任意の文字列とuv) を使用して処理する必要があります。 • 質量誤差、フラグメント質量誤差、RT信頼度、同位体信頼度、およびライブラリ信頼度の信号のみが表示されます。 • グラフテーブルが作成され、XIC、MS1トレース、MS/MSトレース、化合物1のヘッダー情報、および化合物1uvのUVトレースなど、Results Tableの個々のコンポーネントが表示されます。図 1を参照してください。 • 分析試料のグラフは、MS実験に対してのみ繰り返され、UV実験では繰り返されません。 • サンプルにQCのラベルが付いていて、サンプルが2つ以上ある場合、平均、STDEV、および%CVが計算され、レポートの最後にあるQC要約表に含まれます。図 1を参照してください。 • QC行のReportableチェックボックスがオフになっている場合、その行はQCサマリーテーブルの計算に使用されません。

図 1 グラフテーブル

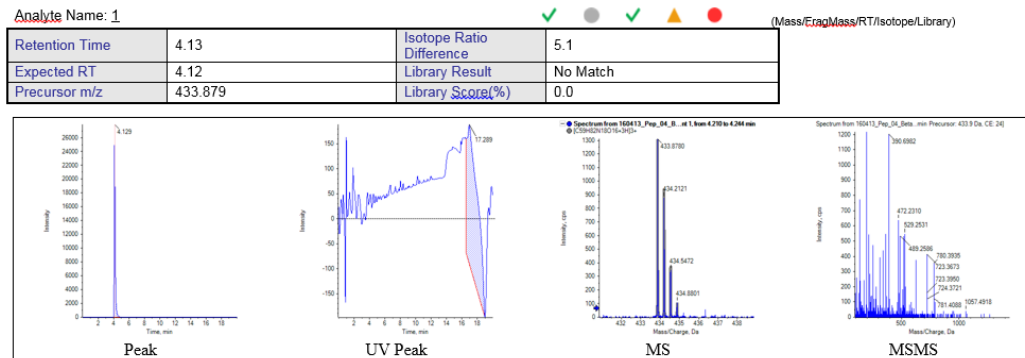


図 2 統計表

Statistics (Grouped by Concentration for QCs - Area)

Analyte Peak Name (MRM Transition)	Mean	Std. Deviation	% CV	Number of Values Used
1 (723.3573 - 723.3773)	1.062e4	7.367e2	6.93	2 of 2
2 (753.3091 - 753.3291)	2.215e4	6.858e2	3.10	2 of 2
3 (760.3353 - 760.3553)	9.332e3	1.955e1	0.21	2 of 2
4 (631.3450 - 631.3650)	3.244e4	1.110e3	3.42	2 of 2
5 (636.3373 - 636.3573)	1.144e5	3.962e2	0.35	2 of 2
6 (871.4354 - 871.4554)	6.479e4	1.198e3	1.85	2 of 2
7 (932.4493 - 932.4693)	2.183e4	7.301e2	3.34	2 of 2
8 (1000.5743 - 1000.5943)	2.553e4	5.007e2	1.96	2 of 2
9 (755.4352 - 755.4552)	1.127e5	8.422e3	7.48	2 of 2
10 (1184.5929 - 1184.6129)	3.576e4	7.231e2	2.02	2 of 2
11 (884.4871 - 884.5071)	5.183e4	1.512e3	2.92	2 of 2
12 (1176.5468 - 1176.5668)	1.670e4	1.848e2	1.11	2 of 2
13 (871.9418 - 871.9618)	1.597e5	5.501e2	0.34	2 of 2
14 (879.4236 - 879.4436)	1.868e5	5.182e3	2.77	2 of 2

お問い合わせ先

お客様のトレーニング

- 北米 : NA.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパ : Europe.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパおよび北米以外 : sciex.com/education

オンライン学習センター

- [SCIEX University™](http://sciex.com/education)

SCIEXサポート

SCIEX およびその代理店は、十分に訓練を受けた保守／技術専門要員を世界中に有しています。システムまたは起こり得る技術的問題に関するご質問にお答えします。詳細な情報については、SCIEX ウェブサイト (sciex.com) を参照するか、以下の連絡先までお問い合わせください。

- sciex.com/contact-us
- sciex.com/request-support

サイバーセキュリティ

SCIEX製品のサイバーセキュリティに関する最新のガイダンスについては、sciex.com/productsecurityを参照してください。

マニュアル

このマニュアルの本バージョンは、以前のバージョンに優先します。

このマニュアルを電子的に閲覧するにはAdobe Acrobat Readerが必要です。最新バージョンをダウンロードするには、<https://get.adobe.com/reader>にアクセスしてください。

ソフトウェア製品のマニュアルについては、ソフトウェアに付属のリリースノートまたはソフトウェアインストールガイドを参照してください。

ハードウェア製品のマニュアルについては、システムまたはコンポーネントに付属の*Customer Reference* DVDを参照してください。

このマニュアルの最新バージョンはSCIEXのウェブサイト (sciex.com/customer-documents) で入手できます。

注：このマニュアルの無料印刷版を請求するには、sciex.com/contact-usに連絡してください。

本書はSCIEX機器をご購入され、実際に使用されるお客様にむけてのものです。本書の著作権は保護されています。本書および本書の一部を複製することは、SCIEXが書面で合意した場合を除いて固く禁止されています。

本書に記載されているソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供されています。使用許諾契約書で特に許可されている場合を除き、いかなる媒体でもソフトウェアを複製、変更、または配布することは法律で禁止されています。さらに、使用許諾契約書では、ソフトウェアを逆アセンブル、リバースエンジニアリング、または逆コンパイルすることをいかなる目的でも禁止することがあります。正当とする根拠は文書中に規定されているとおりです。

本書の一部は、他の製造業者および/またはその製品を参照することがあります。これらには、その名称を商標として登録しているおよび/またはそれぞれの所有者の商標として機能している部分を含む場合があります。そのような使用は、機器への組み込みのためSCIEXにより供給された製造業者の製品を指定することのみを目的としており、その権利および/またはライセンスの使用を含む、または第三者に対しこれらの製造業者名および/または製品名の商標利用を許可するものではありません。

SCIEXの保証は販売またはライセンス供与の時点で提供される明示的保証に限定されており、またSCIEXの唯一かつ独占的な表明、保証および義務とされています。SCIEXは、明示的・黙示的を問わず、制定法若しくは別の法律、または取引の過程または商慣習から生じるかどうかに関わらず、特定の目的のための市場性または適合性の保証を含むがこれらに限定されない、他のいかなる種類の保証も行いません。これらのすべては明示的に放棄されており、購買者による使用またはそれから生じる不測の事態に起因する間接的・派生的損害を含め、一切の責任または偶発債務を負わないものとし

研究専用。診断手順には使用しないでください。

ここに記載されている商標および/または登録商標は、関連するロゴを含め、米国および/またはその他の特定の国における AB Sciex Pte. Ltd.、またはその該当する所有者の所有物です。

AB SCIEX™ はライセンスの下で使用されています。

© 2020 DH Tech. Dev. Pte. Ltd.



AB Sciex Pte. Ltd.
Blk33, #04-06 Marsiling Industrial Estate Road 3
Woodlands Central Industrial Estate, Singapore 739256